

| | | | | | | | |
|-------|---|--|--|--|----------|-----|--|
| 教科 | 社会 | 履修学年 | 第1学年 | 指導時間 | 105 単位時間 | 担当者 | |
| 使用教科書 | 新しい社会地理 (東京書籍) 新しい社会歴史 (東京書籍) | 補助教材 | | | | | |
| 目標 | 広い視野に立って、社会に対する関心を深め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる民主的・平和的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。 | | | | | | |
| 評価の観点 | 社会的事象への 関心・意欲・態度 | 社会的な思考・判断・表現 | 資料活用の 技能 | 社会的事象についての知識・理解 | | | |
| 趣旨 | 社会的事象に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、よりよい社会を考え自覚をもって責任を果たそうとする。 | 社会的事象から課題を見だし、社会的な位置をあらわそうを多面的・多角的に考察し、社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 | 社会的事象に関する諸資料から有用な情報を選択して、効果的に活用している。 | 社会的事象の意義や特色、相互の関連を理解し、その知識を身に付けている。 | | | |
| 評価資料 | ワーク 単元テスト ノート 学習プリント 授業観察等 | 定期試験(中間 期末) 単元テスト ワーク ノート 学習プリント 授業観察等 | 定期試験(中間 期末) 単元テスト ワーク ノート 学習プリント 授業観察等 | 定期試験(中間 期末) 単元テスト ワーク ノート 学習プリント 授業観察等 | | | |

指導計画

| 月 | 単元又は題材 | 時数 | 学習内容 | 評価の観点及び評価規準 | |
|----|--------------------|----|--|--|---|
| 4 | オリエンテーション | 1 | 第1章 世界のすがた | 社会的事象への関心・意欲・態度 | |
| | 第1編 世界のさまざまな地域 | 7 | ・地球のすがたを見てみよう ・地球儀と世界地図を比べてみよう ・地球上の位置をあらわそう ・世界の国々と地域区分 ・おもな国々の国名と位置 | ・地球の様子や世界を構成する州や大陸、国々に対する関心を高め、意欲的に追求しようとしている。 ・世界全図の略地図を自分なりに工夫して描く活動に意欲的に取り組んでいる。 | |
| | 第1章 世界のすがた | | 社会的な思考・判断・表現 | ・主な国々の名称と位置関係、世界の地域区分を基に世界の地域構成を考察することができる。 ・様々な世界地図が考案される理由や世界の地域構成、地域における気温の違いを緯度と経度を基に考察し、その過程や結果を論述や地図などで適切に表現している。 | |
| 5 | 第2章 世界各地の人々の生活と環境 | 11 | 第2章 世界各地の人々の生活と環境 ・雪と氷の中でくらす人々 ・寒暖の差が激しい土地にくらす人々 ・温暖な土地にくらす人々 ・乾燥した土地にくらす人々 ・常夏の島でくらす人々 ・山にくらす人々 ・低い土地にくらす人々 ・人々の生活に根ざす宗教 ・伝統的な生活とその変化 ・世界の気候区分 | 資料活用の 技能 | ・大陸の大きな形状と位置関係、主な国々の名称と位置がわかる程度の世界の略地図を描いている。 ・世界各地の人々の生活と環境の多様性に関する写真や統計資料、文献などの様々な資料から、自然環境の違いや社会的条件の違いに関する有用な情報を適切に選択し、世界各地の人々の生活と環境の多様性について読み取ったり図表などにまとめたりしている。 |
| | 中間テスト | 1 | 言語活動 ・グラフや表などを正確に読み取り、資料内容を記述する活動(ワークシート、小テストなど) ・グループを使って、社会的事象について、根拠を持って自分たちの考えや意見をまとめ、論述する活動(発表、ディベートなど) | 社会的事象についての知識・理解 | ・大陸と海洋の大きな形状と位置、主な国々の名称と位置、世界の地域区分が理解できる。 ・世界の人々の生活や環境が多様で、その暮らしが変化していくのは、自然的条件や社会的条件によることを理解している。 |
| | | | | 社会的事象への関心・意欲・態度 | ・世界の古代文明や宗教のおこりに関心を高め、古代までの日本の大きな流れについて意欲的に追究している。 ・現代に残る古代の文化遺産に関心を高め、それらを尊重しようとしている。 |
| 6 | 歴史的分野 | 6 | 第1章 歴史のとらえ方 | 社会的な思考・判断・表現 | |
| | 第1章 歴史のとらえ方 期末テスト | | ・歴史学習のはじめに ・歴史の大きな流れを見てみよう ・歴史の調べ学習するには・・・? | ・古代文明の特色や宗教のおこり、日本列島における人々の生活の変化について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 | |
| | 第2章 古代の起り | 6 | 第2章 古代までの日本 1節 文明のおこりと日本の成り立ち ・世界の古代文明と宗教のおこり ・日本列島の誕生と縄文文化 ・弥生文化と邪馬台国 ・大王の時代 2節 古代国家の歩みと東アジア世界 ・聖徳太子の政治改革 ・大化の改新 ・律令国家の生活と平城京 ・奈良時代の人々のくらし ・天平文化 ・平安京と東アジアの変化 ・摂関政治と文化の国風化 | 資料活用の 技能 | ・古代における国家の形成、天皇・貴族の政治の展開のあらましや文化などについて、様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 |
| 7 | 第2章 古代の起り | 1 | 第1節 文明の起り | 社会的な思考・判断・表現 | |
| | 第1節 文明の起り | | ・日本列島における人々の生活の変化、古代国家の形成のあらましについて、東アジアを中心とした世界の歴史を背景に理解し、その知識を身に付けている。 ・古代における文化の特色について、東アジアとかわらせて理解し、その知識を身に付けてい | | |
| | 第1節 文明の起り | 1 | 言語活動 ・社会的事象の意味、意義を歴史的資料、地図、年表などから読み取り、基礎的・基本的な用語を用いて記述する活動(ワークシート、小テスト、ノートなど) ・社会的事象について、根拠をもって自分たちの考えや意見をまとめ、論述する活動(発表、ディベートなど) | 社会的な思考・判断・表現 | ・日本列島における人々の生活の変化、古代国家の形成のあらましについて、東アジアを中心とした世界の歴史を背景に理解し、その知識を身に付けている。 ・古代における文化の特色について、東アジアとかわらせて理解し、その知識を身に付けてい |
| 9 | 第2節 古代国家の歩みと東アジア世界 | 9 | 第2節 古代国家の歩みと東アジア世界 | 資料活用の 技能 | |
| | 中間テスト | 1 | 言語活動 ・社会的事象の意味、意義を歴史的資料、地図、年表などから読み取り、基礎的・基本的な用語を用いて記述する活動(ワークシート、小テスト、ノートなど) ・社会的事象について、根拠をもって自分たちの考えや意見をまとめ、論述する活動(発表、ディベートなど) | 社会的な思考・判断・表現 | ・日本列島における人々の生活の変化、古代国家の形成のあらましについて、東アジアを中心とした世界の歴史を背景に理解し、その知識を身に付けている。 ・古代における文化の特色について、東アジアとかわらせて理解し、その知識を身に付けてい |
| | | | | 資料活用の 技能 | ・古代における国家の形成、天皇・貴族の政治の展開のあらましや文化などについて、様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 |
| 10 | 第3章 世界の諸地域 | 6 | 第3章 世界の諸地域 | 社会的な思考・判断・表現 | |
| | 1節 アジア州 | | ・アジア州をながめて①② ・経済成長がいちじるしい中国とインド ・急速に変わる東南アジア ・多様な民族と経済成長 | ・世界の諸地域の様々な地理的事象を見だし、地域的特色に対する関心を高めている。 ・世界の諸地域の地域的特色を理解するための適切な課題を設定し、意欲的に追究している。 | |
| | 2節 ヨーロッパ州 | 6 | 2節 ヨーロッパ州 ・ヨーロッパ州をながめて ・ヨーロッパ文化の共通性 ・進むヨーロッパ統合 ・ヨーロッパの課題とロシア連邦 | 資料活用の 技能 | ・設定した課題を地域の環境条件や他地域との結びつき、人間の営みとのかかわりから、多面的・多角的に考察している。 ・世界の諸地域の地域的特色が、それぞれ世界的視野から見てどのような地域的特色なのか、一般的共通性と地方的特殊性の観点から追究し、とらえている。 |
| 11 | 3節 アフリカ州 | 4 | 3節 アフリカ州 ・アフリカ州をながめて ・アフリカの産業と新たな開発 ・アフリカの課題と展望 | 社会的な思考・判断・表現 | ・世界の諸地域の地域的特色をとらえるため、地図・新聞・写真・紀行文や国家単位の統計など、様々な資料を収集している。 ・収集した資料から、世界の諸地域の地域的特色について有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 |
| | 4節 北アメリカ州 | 6 | 4節 北アメリカ州 ・北アメリカ州をながめて ・広大な国土と工業化した農業 ・工業の発展と工業地域 ・アメリカで生まれた生活・文化 | 資料活用の 技能 | ・世界の諸地域の地域的特色をとらえるため、地図・新聞・写真・紀行文や国家単位の統計など、様々な資料を収集している。 ・収集した資料から、世界の諸地域の地域的特色について有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 |
| | 5節 南アメリカ州 | 3 | 5節 南アメリカ州 ・南アメリカ州をながめて ・自然環境と共生する人々 ・開発の進捗とその影響 | 社会的な思考・判断・表現 | ・世界の諸地域の自然環境・産業・生活・文化、歴史的背景などについて概観し、その結果として基礎的・基本的な知識を身に付けている。 ・地域の環境条件や他地域との結びつき、人間の営みとのかかわりなどからとらえた、世界の諸地域の地域的特色を理解し、その基礎的・基本的な知識を身に付けている。 |
| 12 | 6節 オセアニア州 | 3 | 6節 オセアニア州 ・オセアニア州をながめて ・資源によるアジアとのつながり ・人々によるアジアとのつながり | 資料活用の 技能 | ・世界の諸地域の地域的特色をとらえるため、地図・新聞・写真・紀行文や国家単位の統計など、様々な資料を収集している。 ・収集した資料から、世界の諸地域の地域的特色について有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 |
| | 期末テスト | | 言語活動 ・グラフや表などを正確に読み取り、資料内容を記述する活動(ワークシート、小テストなど) ・グループを使って、社会的事象について、根拠を持って自分たちの考えや意見をまとめ、論述する活動(発表、ディベートなど) | 社会的な思考・判断・表現 | ・世界の諸地域の自然環境・産業・生活・文化、歴史的背景などについて概観し、その結果として基礎的・基本的な知識を身に付けている。 ・地域の環境条件や他地域との結びつき、人間の営みとのかかわりなどからとらえた、世界の諸地域の地域的特色を理解し、その基礎的・基本的な知識を身に付けている。 |
| | 第4章 世界のさまざまな地域の調査 | 6 | 第4章 世界のさまざまな地域の調査 ・調査テーマを決めよう ・調査の準備をしよう ・調査をしよう①② | 社会的な思考・判断・表現 | ・設定した課題の解決に向けて、世界の様々な地域の調査を行う際の視点や方法を基に地域を調査し、地域的特色を明らかにすることに関心を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。 |

| 月 | 単元又は題材 | 時数 | 学習内容 | 評価の観点及び評価規準 | | |
|--|---|--|--|--|---|---|
| 2 | 第3章 中世の日本 第1節 武士の台頭と鎌倉幕府 第2節 東アジア世界とのかかわりと社会の変動 まとめ(「深めよう」を含む) 補充学習と評価 | 6 2学期小計 (50) | <ul style="list-style-type: none"> 調査のまとめをしよう 調査の発表をしよう | 社会的な思考・判断・表現 ・世界の様々な地域又は国の人々の暮らしの地域的特色について、その共通性や異質性など多面的・多角的に考察し、なぜそのような多様な生活を営んでいるのかを論述や図表などで適切に表現している。 ・世界の様々な地域の調査を行う際の視点や方法を多面的・多角的に考察し、調査活動の過程やその結果を適切に表現している。 | | |
| | | | 言語活動 ・複数の社会的事象について、因果関係や目的・手段・関連のような事象間の関連を、概念を用いることで記述、発表する活動(ワークシート、新聞作成、ノート、発表など) | 資料活用の 技能 ・人々の伝統的な生活と文化、自然的条件や社会的条件、歴史的背景、他地域との共通性や異質性、結び付きなどに着目して、調査対象の地域的特色に関する資料を収集している。 ・調査結果のまとめの学習活動において、統計資料を地図上に適切に表現したり、地図を活用してその内容を示 | | |
| | | | 社会的な思考・判断・表現 ・世界の様々な地域の調査について、位置や環境条件、人間の営みなどと関連付けて考察をし、調査した地域の地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。 | 社会的な思考・判断・表現 ・世界の様々な地域の調査について、位置や環境条件、人間の営みなどと関連付けて考察をし、調査した地域の地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。 | | |
| | | 9 | 第3章 中世の日本 1節 武士の台頭と鎌倉幕府 ・武士の成長 ・武家政権の成立 ・武士と民衆の生活 ・鎌倉時代の文化と宗教 2節 東アジア世界とのかかわりと社会の変動 ・モンゴルの襲来と日本 ・南北朝の動乱と室町幕府 ・東アジアとの交流 ・産業の発達と民衆の生活 ・徳川の乱と戦国大名 ・室町文化とその広がり ・東アジア世界の朝貢体制と琉球王国 ・室町時代の生活文化と現状 | 2 | 社会的な思考・判断・表現 ・武家政権の成立と武家社会の発展、諸産業の発達と民衆の成長、東アジア世界とのかかわりに対する関心を高め、意欲的に学習している。 ・日本の伝統文化に対する関心を高め、今日に残る中世の文化や文化財を尊重しようとしている。 | |
| | | | | | 社会的な思考・判断・表現 ・武家政権の成立と武家社会の発展、諸産業の発達と民衆の成長、東アジア世界とのかかわり、文化の特色などについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 | 資料活用の 技能 ・中世の政治の展開、経済の発達と社会の変化、文化の広がりに関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 |
| | | | | | 社会的な思考・判断・表現 ・武家政権の成立と武家社会の発展、諸産業の発達と民衆の成長を、東アジア世界とのかかわりを背景に理解し、その知識を身に付けている。 ・中世の文化の特色と、その中に現在に結びつくものがみられることに気づき、その知識を身に付けている。 | 社会的な思考・判断・表現 ・武家政権の成立と武家社会の発展、諸産業の発達と民衆の成長を、東アジア世界とのかかわりを背景に理解し、その知識を身に付けている。 ・中世の文化の特色と、その中に現在に結びつくものがみられることに気づき、その知識を身に付けている。 |
| | | | | | 社会的な思考・判断・表現 ・武家政権の成立と武家社会の発展、諸産業の発達と民衆の成長を、東アジア世界とのかかわりを背景に理解し、その知識を身に付けている。 ・中世の文化の特色と、その中に現在に結びつくものがみられることに気づき、その知識を身に付けている。 | 社会的な思考・判断・表現 ・武家政権の成立と武家社会の発展、諸産業の発達と民衆の成長を、東アジア世界とのかかわりを背景に理解し、その知識を身に付けている。 ・中世の文化の特色と、その中に現在に結びつくものがみられることに気づき、その知識を身に付けている。 |
| | | 5 | 第2編 日本のさまざまな地域 第1章 日本のすがた ・日本の位置を調べよう ・日本の領域の特色を見てみよう ・各国の標準時と日本との時差 ・いろいろな見方で都道府県を見よう ・日本をいくつかの地域に分けよう | 6 | 社会的な思考・判断・表現 ・日本の国土に対する関心を高め、日本の位置と領域、都道府県の構成と地域区分を意欲的に追究し、日本の地域構成を大まかにとらえようとしている。 ・日本の略地図を自分なりに工夫して描く活動に意欲的に取り組んでいる。 | |
| | | | | | 社会的な思考・判断・表現 ・日本の位置と領域の特色を、世界的な視野から多面的・多角的に考察し、簡単な説明文にまとめなど適切に表現している。 ・標準時と時差のしくみを通して、地球上における日本と世界各地との位置関係をとらえている。 | |
| | | 3 | 第2章 世界から見た日本の姿 | 6 | 社会的な思考・判断・表現 ・日本の位置と領域の特色を、世界的な視野から多面的・多角的に考察し、簡単な説明文にまとめなど適切に表現している。 ・標準時と時差のしくみを通して、地球上における日本と世界各地との位置関係をとらえている。 | |
| 資料活用の 技能 ・地球儀や世界地図を活用して、簡単な時差の計算ができる。 ・日本の略地図の描き方を自分なりに工夫して描いている。 ・日本の地域構成を、地図を活用して適切にとらえている。 | | | | | | |
| 3 | 3学期小計 (22) 年間合計 (105) | 6 | 社会的な思考・判断・表現 ・都道府県名や県庁所在地を把握し、大まかな地方の分け方を理解することができる。 ・世界的な視野から日本の領域の特色と変化を理解し、その知識を略地図に描くことができる。 ・標準時と時差のしくみについて理解し、その知識を身に付けている。 | | | |
| | | | 社会的な思考・判断・表現 ・都道府県名や県庁所在地を把握し、大まかな地方の分け方を理解することができる。 ・世界的な視野から日本の領域の特色と変化を理解し、その知識を略地図に描くことができる。 ・標準時と時差のしくみについて理解し、その知識を身に付けている。 | | | |
| 先生からのアドバイス | 学習の進め方(学習方法、学習形態等) | ○学習指導要領における基礎・基本事項を繰り返し指導を行う。(地理的思考力 歴史的思考力 公民的資質の育成) ○単元ごとに適切に課題を設け、新聞やレポートを作成させ表現力育成をすすめる。 ○授業を通して、思考・判断したことを聞く人にわかりやすく説明できる言語力を養う。 ○日頃から新聞記事やニュースなどの時事問題に関心をもたせ、それに対する意見が持てるように指導をすすめる。 ○小単元ごとに評価活動(小テストなど)を実施して学力の定着をはかる。 ○ノート指導を適宜行い、情報収集・活用能力の育成に努める。 | | | | |
| | 学習上の留意点 受講上の注意 | ○新聞・ニュースで取り上げられているさまざまな情報・できごとに対して、興味・関心をもつようにしましょう。 ○話し合いの場面では、お互いに考えを出し合い、聞き合うことを意識することで、思考を深めていきましょう。 ○授業で使用するプリントでの復習やワークの問題に取り組み、基礎・基本の定着をはかりましょう。 ○各時代の特徴(政治・社会のしくみ・人々のくらしや文化など)をその時代の人物と関連付けてとらえていくようにしましょう。 | | | | |